

事務事業名		豊川水源林対策事業（旧 豊川水源林対策造林事業）			会計	一般会計		事業種別		経常	開始	S54	終了	28
H27担当課等名	林務課	H27係等名	林業振興係		H26係等名		林業振興係							
基本計画上の位置づけ	政策	5	人の営みと自然・環境が調和したまちづくり											
	施策	51	緑の保全と創出											
目的	対象(誰・何を)	市・民有林(南信濃地区)			対象指標	指標名及び単位			26年度数値					
	意図(どういう状態にするか)	健全な森林を育成し資源価値を高める				7齢級(35年生以下)の人工林面積(ha)			488					
	向上させたい上位施策の成果指標	林業生産額(億円)												
目標	種別	指標名及び単位			26年度計画	26年度実績	27年度計画	28年度見込み	備考(指標変更など)					
	成果指標	施業実施面積(ha)			5	0	5	5						
	定性目標													
事業概要	財団法人豊川水源基金の助成を受け、間伐を行う。施業は業務委託による													
26年度事業内容	事業内容				名称				活動指標					
	1 財団法人豊川水源基金の助成を受けて市有林の間伐を行う南信濃地区				1 間伐実施面積(ha)				1.5ha					
事業コスト		25年度決算額	26年度予算額	26年度決算額	27年度予算額	特定財源内訳、補足								
事業費計(千円)①		1,031	93	0	0	・平成26年度は上村で実施し、南信濃では行わなかった。								
国庫支出金														
県支出金														
起債														
その他		615												
一般財源		416	93											
人件費計(千円)②		179		0	0									
正規職員所要時間		50												
臨時職員所要時間														
総事業費①+②		1,210	93	0	0									
事業内容・目標達成状況の振り返り	豊川水源林基金の配分助成金を活用し、水源林対策事業が実施できた。一定額の配分があったため、計画的に実施することができた。													
改革改善の考え方	①問題点	豊川水源林基金からの配分助成金により、水源林対策事業が実施できたが、林齢の上昇により新たな施業地の確保が難しくなっている。												
	②改革提案	豊川水源基金と協議し、施業地のローテーション、施業条件の緩和措置などの要望を行い、今後も引き続いて水源林涵養のために計画的な事業を実施する。												